

みんなで考えながら遊びを進めています

～レッツ フィッシング!!～ その②



8月23日(金) つき組

自分で作った釣り竿と水に浮かべたお魚で魚釣り遊びを楽しんでいた時の出来事です。

Aさん「水の中だと、お魚重くなって（磁石が）くっつかない」

Bさん「磁石、すぐ外れる」

どうしたらいいのかな、と二人の疑問をサークルタイムで全体に投げかけてみました。



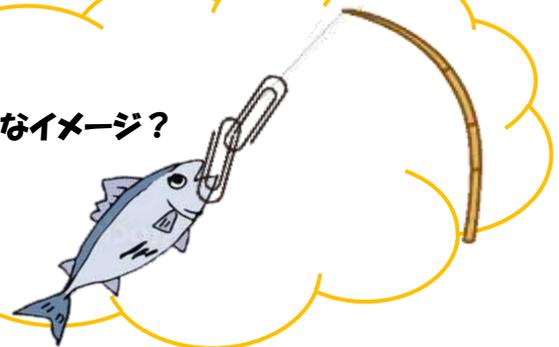
すると…

Cさん「磁石やめて、クリップにしたら？」
「クリップとクリップを引っかけるの」



夏まつりのヨーヨーすくいでも使用した釣り竿が先端にフックのついた物だったので、子どもたちに「クリップじゃないけど、こんな釣り竿があるよ」と見せると「それでやってみたい!」と翌日の水遊びで使ってみることにしました。

こんなイメージ?



フックを通すのは磁石の時とは違う難しさがあるのですが、少し難しいくらいが子どもたちのやる気を刺激しているようで、どの子も「釣れん…」「あ、釣れた!」などと言いながら真剣な表情で釣っていました。



また、個々の遊びである魚釣りをみんなで楽しめる集団ゲームに取り入れたいと思い、チーム対抗の魚釣りゲームも始めています。



一度やってみると、「楽しかった」「もっとやりたい」といった感想の他に、「応援してもらって『頑張ろう』って気持ちになる」「音楽を流したら楽しい気持ちになる」「小さいクラスの子も呼んだらどう?」「おうちの人にも応援してもらいたい」という意見が出ました。

そこで8月27日の保育参加では、子どもたちがグループで集団ゲームを頑張る姿を見てもらい、ぜひ応援をしてもらえたらと思います。また、親子でも一緒に体を動かして楽しめる時間を持ちたいと考えています。

(おうちの人が今度来ると伝えると、それはそれで「恥ずかしいからやだ～」という子もいました(笑) 当日は普段のような伸び伸び楽しむ姿もあれば、緊張してしまう姿もあるかもしれませんが、暖かく見守ってください)